

令和7年度山鼻中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：31008

「学ぶ力」	
これまでの成果	課題
◇札幌市の共通指標によると、「協働的な学び」「根拠を明確にして意見を述べる」「他者の意見を取り入れ、自分の意見に生かす」といった項目において、全学年で肯定的な回答が高い割合を示した。各教科でグループ学習などの他者との関わりを重視した授業が効果的に行われており、成果につながっている。	◇「自律した学習」に関する以下の項目で肯定的な回答が少ない。 ・意欲的に学習に取り組んでいる ・自分に学力がついてきていると感じている ・自分で計画を立てて学習している
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
◇札幌市の共通指標の相互承認に関連する項目において、「自分が必要とされていると感じる」の1学年における肯定的な回答の割合が他学年と比べ低く、学年が上がるごとに割合が上昇している。異学年交流や異校種交流、総合的な学習の時間によって子ども同士の関りの場を設定し、自己肯定感の高まりを感じる機会を設けることが課題である。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

計画性をもって、自律的に学びに向かい、関わりによって学びを深める力

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
取組	<p>◇「他律的な学び」から「自律的な学び」への推進。(AARサイクルの活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師中心の授業から、生徒主体の学びへ転換。 ・ICTを活用した効率的な学習の工夫。 ・「見通し」「個別探究・協働探究」「振り返り」のサイクルによる学習の深化。 ・対話と合意形成を重視した授業研究。 	<p>◇「自律」・「他者尊重」・「新たな価値の創造」を活動の軸に据え、生徒が自ら目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力を養う。また、生徒による「自己選択・判断・決定」のプロセスを重視する。</p> <p>◇生徒の言葉で語る「山鼻中の伝統づくり」の推進を通して生徒がとらえる本校の強みと課題を把握（生徒会活動の基盤）し、伝統づくりの機運を高める。</p> <p>◇コミュニティ・スクールを導入し、子どもの声を学校や地域活動の運営に反映する取組をすすめる。</p>

〈本プログラムの実行に向けて〉

